

# 利根川・江戸川ブロック公述書

開催場所：春日部市民文化会館

開催日時：平成19年3月6日

以下の部分について公表します

届出者の住所 埼玉 県 所沢 市  
年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・○60歳以上  
性別 (○で囲んで下さい) ○男性 ・ 女性

公述人 1  
利根江戸-27

意見の概要

○ 公共事業は、経済社会的効果、環境負荷を含めて、その与える影響は極めて大きい。一方、日本の財政破綻、環境破壊の進行、価値観の多様化を考えると、公共事業の計画策定・実施に当たっては従来の延長線上でなく、ゼロベースの見直しが不可欠であり、現行法の枠内で充分対応可能である。
○ 計画策定上配慮すべき点は、
1. 経済社会面から環境負荷に及ぶ必要性の科学的評価
2. 費用対効果の客観的評価
3. ゼロを含む複数選択肢の比較及び優先順位の設定
○ 方法論として配慮すべき点は、
1. 情報公開と住民参加：行政や限られた分野の学識経験者の知見では限界がある。情報公開を徹底した上で、広く住民・市民団体の意見を求めるべきである。時間がかかるなどの非効率性は、民主主義に伴うコストである。
2. 公正な競争：但し、安かろう・悪かろうを排除するため厳正なチェックの仕組みは不可欠である。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所 埼玉 都・(県) 三郷 市(区・町・村)  
年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・(60歳以上)  
性別 (○で囲んで下さい) (男性) ・ 女性

公述人 2  
利根江戸-8

意見の概要

Empty box for the summary of opinions.

公述希望届出書

現在工事中・計画中のダム建設等の大規模開発事業の中止を求める。利根川水系では多くのダム建設、河口堰建設など、大規模開発事業が行われ、それによって利根川の自然は大きく損なわれ、地元住民、漁民は多大な被害を受けてきた。過去においては首都圏の都市用水の増加が開発事業推進の理由であったが、今や時代は大きく変わって、都市用水は10年前から減少傾向となり、今後も節水機器の普及等によって、ますます減っていくことが確実となった。利水の面では新たなダム建設を進める必要性が皆無となり、さらには水余り現象を踏まえて、河口堰等の見直しを進めることも可能な状況になってきている。治水の面では効果が不明瞭なダムに依存した治水計画の危うさが明らかになってきている。「これ以上痛めつけないでくれ」と、利根川の自然が叫んでいるであろう声に耳を傾け、利根川におけるこれ以上の大規模開発事業をストップすべきである。

Empty box for the public statement.

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。



以下の部分について公表します

届出者の住所

埼玉県

幸手市

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

公述人5

性別 (○で囲んで下さい)

男性 女性

利根江戸-43

意見の概要

1	河川整備計画の目標(治水)について「上・下流本支川を合わせた貯留施設の設置や河川区域外貯留施設の有機的活用による治水対策の検討等について。
2	河川環境の整備と保全についてダム直下流の連続性の検討に關して、河川区域を超えた流水の通水が中川・綾瀬川の水質改善や地下水の涵養に効果的であるため、本格通水の検討について。
3	利根川と江戸川の分派改修について利根川と江戸川の分派等、河川改修における江戸川下流利水に配慮した整備計画についての提案、計画立案と実施について。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。